

# 長崎県の美しつままちづくり 波佐見編

県内屈指の焼き物の里、波佐見町は、毎年陶器まつりが行われ、たくさんの人で賑わう場所としてご存知の方も多いのではないのでしょうか。今回は陶磁と緑のまち、波佐見町をご紹介します。

波佐見町の中心部、焼きもの公園の近くに位置している「旧波佐見町立中央小学校講堂兼公会堂(旧講堂)」は、昭和12年に建てられた西洋風建築物で、小学校校舎が移転される平成7年まで使われていました。長きにわたり地域の人々とともに歴史を重ねてきた旧講堂ですが、老朽化が激しく維持管理が難しいとの理由などから、平成9年に町議会においてその解体が決定されました。これを受け、地域住民が建物保存のために立ち上がり、存続を求める運動を始めました。住民の熱意と努力が実を結び、平成19年に町が建物の保存を決定し、さらに平成22年には、その歴史的価値が認められて、国の登録有形文化財となりました。地域の



旧波佐見町立中央小学校講堂兼公会堂

力が実を結び、平成19年に町が建物の保存を決定し、さらに平成22年には、その歴史的価値が認められて、国の登録有形文化財となりました。地域の

方々は、素敵な笑顔でまるで昨日のことに思い出を語ってくださいます。地域住民の思いが詰まった旧講堂は現在、今後の活用をみんなで話し合うフォーラムや高い音響効果を生かしたコンサートが開催され、この先も歴史を重ねていくこととなりそうです。

さらに旧講堂のすぐ近くには、別の歴史を紡いできた建物群があります。そこは、かつて福幸製陶所として使われていた場所で、約40年にわたる波佐見焼の伝統を支えてきました。昭和2年に建築された建物も残るこの一帯は、製陶所としての役割を終えた今、カフェや



旧福幸製陶所建物群(西ノ原工房)

雑貨屋などさまざまな店舗が立ち並ぶ「西ノ原工房」へと生まれ変わりました。改装された店内には、製陶所当時に使われていたものが数多く残され、味わい深いインテリアとなつて、やさしく居心地の良い空間を作り出しています。

また、佐賀県との県境に近い山間には、約40枚の水田が広がっており、訪れる人々を和ませます。日本棚田百選にも選定されたこの「鬼木棚田」では、棚田の素晴らしい景色を楽しめるウォークラリーやたくさんの方の案内が祭りが毎年開催されています。ここでは、楽しみながら大地の恵みに感謝し、棚田を守り受け継いでいるのです。ちなみに今回紹介した建物や棚田は、県の「まちづくり景観資産」に登録されています。県内のまちづくり景観資産をまとめたガイドブック「長崎景色」は無料配布していますので、皆さんもぜひ手にとって素敵な景観に触れてみてください。(景観班／山北)



鬼木棚田